

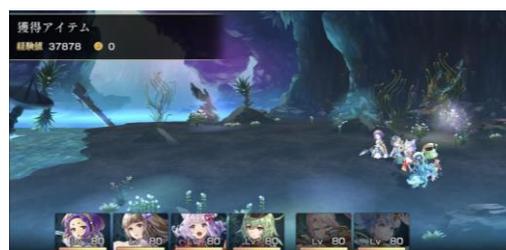
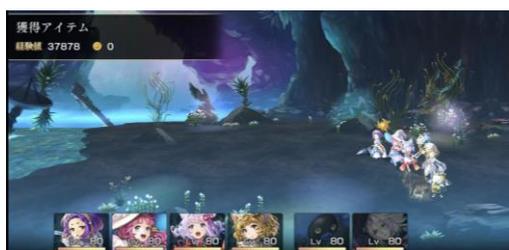
歪なるデウス・クラス (HARD)

～ ノブレスオブリッジだけで完封 ～

Introduction

毎度のようにアナデンの強敵は脅しがうまく、一見すると新キャラ — AS・ES・異時層も含めて — を引かなければ大変やりにくい印象をユーザーへ与えます。

実際、このデウスクラスはしょっちゅう弱点が変わるわりに陰属性では普通に戦えるようになっていて、エニとヤクモがいれば有利でしょう。その高い倍率のバフから物理攻撃に強く、せめてエニがいなければまともに戦えないように思えます。一方、実装当時の状況下において、エニやヤクモほど火力が出る陰属性の魔法キャラはいません。



「露骨に新キャラが優遇されている…」

この感想も頷けますし、間違っていない。

ただし、ある程度の耐久戦を許容する場合、ここで言われるところの「優遇」が対岸の火事であることも事実なのです。

Noblesse Oblige ～ 抜け道を見つける ～



AS ソイラのノブレスオブリッジ。これをひたすらやっていたらいいよね。

弱点で攻撃しても問題ありません。デウスクラスのMPダメージ反撃もソイラが受けることで、こちらへ被害はありません。

一方、ソイラには属性と物理デバフ耐性<槍>を装着しておく。すると、こちらはデウスクラスが打つデバフの悪影響を一切受けることなく、攻撃に集中できる体制

が整います。

だから耐久戦をやっているように見えても、実際には火力も出て現実的なターン数に収まる。

私の時層にはミナルカ・エニ・ヤクモのいずれも不在です。当然のことながらテトラやキュモスも不在です。極めて不利なように見えるし実際にいろいろ作戦が必要ですが…

このように抜け道を見つけることができれば、超が付くほどの耐久戦をせずとも倒せてしまいます。いつも通りですね。

歪なるデウス・クラス (HARD) ～ ノブレスオブリッジだけで完封 ～

Cogito ～ 星海陣 ～



普通にやるなら星海陣が無難な選択かと。実際に強いしね。

ES ナギでも良いでしょうけど、マユの方が好きなのでそっちでやりました。

コギトエルゴスムをぶっ放せば良いだけなので、考えることが少なくてラクなんです。

強敵戦の抜け道というのは見つかるまでは試行錯誤が必要ですが、いったん見つけてしまえば編成幅が広いという特徴があります。

長年キャラ不足であった私の感覚だと、引きたてほやほやの新キャラ研究を強敵相手にやるより抜け道探しのほうが圧倒的にラクですね。一新キャラが在席しているという状況をほぼ経験したことがないという意味でもー



アルマをアタッカーにして、AS ユキノで AS ソイラとアルマの両方をカバーし、瞬突陣で AS ねここのバフデバフを十分に活用できるようにします。

頃合いを見てマユを上げ、コギトエルゴスムを当てる。

とにかくマユがシンプルに強いからあんまり書けるネタがないです…

少々メンバーを変更しようと、おおよそ 20 ターン前後に収まります。

歪なるデウス・クラス (HARD) ～ ノブレスオブリッジだけで完封 ～

High Priestess ～ プロディギウム ～



これは想定外でした。私が以前攻略していた時は思い付かなかった。本項目は後から追記したものです。

ハイプリエステスを入れてみたきっかけは AS ユキノの代わりに AS ソイラの HP を上げようとしたからですが、手が空いたときに AS レレにもかけてみたらびっくり仰天の火力が出てしまって…デウスクラスが一撃で吹っ飛んでしまいます！

一方、戦闘そのものは簡単ですよ。

属性 ZONE は AS ねここの地 ZONE、火風水はグラスタで補います。序盤にアルマの輝晶陣を使えば一番ラクです。

晶・地・火・風・水の順番に ZONE を切り替えながら霊恵虹変怪・プロディギウム・ストリームグレアーとやれば、ばんばんデウスクラスを一撃爆破していける。仮にアルマも縛りたいなら水・地・火・風・水の順番でやればいい。

これもまた強敵戦の抜け道ですよ。ややこしく感じるのは初めだけで、分かっちゃえば自由が利くのです。

こちらの戦い方ではおおよそ 15 ターン前後に収まります。



顕現ハイプリエステス…驚くべき支援性能です。ディフェンダーである AS ソイラを確実にバックアップし、アタッカーである AS レレを強かにサポートします。

でもマユと同じくシンプルです。プロディギウム

をかけるだけ。大きな衝撃を受けました…

今後の強敵戦はもちろん、あるいは周回でも十分に選択肢へ入るでしょう！

歪なるデウス・クラス (HARD) ～ ノブレスオブリッジだけで完封 ～

Afterword



とても不思議な、何とも言えない強敵戦でしたね。

「〇〇の露骨な接待だあー！」というコンテキストは昔から繰り返し見られました。

しかし、実際に戦ってみると実像以上に騒がれていることが多いよね。今回もそれに当てはまります。

この歪なるデウス・クラス (HARD) もさほど超強敵という印象は持っていません。ノブレスオブリッジ連打+魔法パーティーというのは「盾キャラ+魔法キャラ」という弊時層のテンプレ編成そのままですからね…なにはともあれ、敵の動きに対応することさえできれば大きな問題はないです。

これから新キャラが続々出るのだとすれば、私の時層はどんどん最新の戦闘環境から置いて行かれるでしょう。

ていうかいつも置き去りですが (笑)

2部期間中は強敵がそもそも配信されなかったことを良いことに外伝キャラの天冥上げに熱中しておりました。

そんな時層ではありますが、マリエルとともに習得したアナデン古武術は今もなお、私の時層で力強く在り続けています。

紙面が余ったのでおまけ！



ヤクモとそのバディがいれば、もうちょっとサンツィオーネの火力が出るでしょうね。